



(3) 事業の効果

区分	事業効果の内容
2年度 3年度 4年度	コミュニティバス路線と結節し、鉄道駅及び総合病院を結ぶ路線が維持されることにより、地域住民の広域移動や通院等の日常生活における移手段が確保される。

(4) 平成30年度事業評価結果を踏まえた取組等

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ポケット時刻表、バスマップの作成</li> <li>・HP、携帯、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムの提供</li> </ul>
---

7. 収支改善計画（生産性向上の取組）

(1) 2年度の生産性向上の取組

	運営主体	沿線市町村①		沿線市町村②		沿線市町村③		沿線市町村④	
		市町村名	名古屋市	市町村名	尾張旭市	市町村名	長久手市	市町村名	瀬戸市
取組 （経費削減策等）	継続して、ポケット時刻表、バスマップの作成、HP、携帯、スマートフォンでの時刻検索システム、バスロケーションシステムを提供し、利用者利便の向上に努める。	交通エコライフの取組を進め、公共交通利用促進を実施する。	・本市営バスルートマップに名鉄バス停留所を記載し、乗換案内図にも行先を掲載して周知を図る。 ・市広報誌に公共交通に関する特集ページを掲載し周知を図る。	・市民、交通事業者等と協力し、公共交通利用促進事業を実施する。 ・HP、広報誌等を活用した公共交通利用促進及び啓発を図る。	①広報紙やホームページ等による利用促進活動を行う。 ②公共交通とまちづくりが連携した公共交通網形成計画を策定し、他の路線との連携の強化をはじめ、公共交通ネットワークの再構築を推進する。				
スケジュール等	—	—	・本市営バスルートマップの乗換案内図に記載し配布中。 ・令和2年9月	—	①通年 ②令和2年3月				

(2) 定量的な効果目標

指標	沿線市町村意見				運営主体の案		
	市町村名① 名古屋市	市町村名② 尾張旭市	市町村名③ 長久手市	市町村名④ 瀬戸市	収支率	2年度目標値	30年度現状値
	収支率	収支率	収支率	収支改善率			76.7%
選択の理由	利用促進の取組を進めべきと考えるため	生産性向上の取組結果が明確に見て取れると考えるため。	生産性向上の取組結果を明確に把握することができるため。	収支改善率を指標とすることで、明確に生産性向上の取組結果を把握することができるため。	生産性向上の取組成果を明確に把握できると考えるため	（目標設定の考え方） 路線の更なる周知により利用者の増加を図り、増収を目指す。	